

清和中便り

令和6年5月29日
文責 校長 山本祥博

命を守るために想定外も想定を

通勤途中や学校に咲くあじさいの花が一日ずつ大きくなっているような感じがします。早いもので明後日からは6月（水無月）に入ります。6月といえば梅雨。1年で最も雨を感じる季節です。にもかかわらずなぜ「水無月（みなづき）」と言われるか不思議に思ったことはありませんか？疑問に感じたことはすぐに調べることができる便利な時代です。諸説あるようですが、

①陰暦の6月は陽暦の7月頃にあたり水が枯渇しやすいから。

②「水無月」の「無（な）」は「～の」を意味する。つまり「水が無い月」でなく「水の月」ということから。 また一つ勉強になりました。

いずれにせよこれからは大雨に対する備えが必要な時期です。先日、「大雨時の避難訓練」を実施しました。土砂崩れから難を逃れるために学校から清和体育館に移動し、防災主任の浦山先生、教頭先生の話の後、各地区ごとに分かれて自宅周辺や登下校経路の危険箇所、想定される災害、自分と家族の命を守るための行動等について話し合いました。人間には「正常性バイアス」という心理が働きます。「これまで大丈夫だったから大丈夫だろう。」「ここは被害に遭わないだろう。」昨年のも大雨でも土砂崩れや橋の崩落など想定を越えることが起こりました。避難して何もなかったらラッキーだったということ。「空振りオッケー」の精神で命を守る行動についてご家族で話題にされてみませんか。



体育大会大変お世話になりました

先日の体育大会には多数お越しいただきありがとうございました。「主体性と向上心」をキーワードに生徒、職員一丸となって作り上げました。暑い中、最後までご声援をいただき、また、後片付けまでご協力いただき本当にありがとうございました。6月は各部とも中体連総体を始め、各種大会が控えます。体育大会での藤嶋PTA会長の「憧れるのをやめましょう。」村上副会長の「今後も何事にも挑戦し続けてほしい」という激励の言葉とともに体育大会を通して学んだ「やればできる」ことを忘れず、自信を持って挑んでほしいと思います。

